

# ときめく郷ごころ



## 地域おこし協力隊として

### ふるさと 故郷に帰ってきました！

はじめまして。10月から地域おこし協力隊に着任した青木郷香（あおき・さとこ）です。

私は、旧中山町出身。地元で3年間働いたあと、違う世界を見たくて東京へ出ました。あちらでは、新聞配達や電話オペレーターなどいろいろな職種をアルバイトで経験しました。服飾メーカーの通販部門の社員となつてからは、主にお客様対応やスタッフ教育などを担当していました。通販で困ったことがあつたら、相談に乗ることができるとかもありません。

私の趣味は、好きなアーティストのコンサートに行くことです。特に大好きな「ウルフルズ」のことにすると、ちょっと人が変わります。

東京に行く前の5年間は、手話サークルに所属し、県内のサークルやイベントに飛び回っていました。今、鳥取県は手話言語条例が成立し、以前とは比べ物にならないくらい普及活動が活発になっていてびびくりしました。少しずつ手話を思い出して、

手話のイベントにも積極的に参加したいと思っています。そのほかにも、仕事のストレスで体を壊したときに出会ったリフレクソロジー（足裏マッサージ）に興味がわき、資格を取りました。興味のあるところには、どうやらどんどん深入りしていくタイプみたいです。

15年の間にインターネットが普及し、今ではスマートフォンがひとつあるだけで、とても便利な世の中になりました。そうになると、東京で高い家賃を払って住み続けることや、重たいペットボトルの水を何本も買うことも無駄に思えてきて、振り返ってみたら豊かな自然と優しい人たちのいる故郷・大山町に気が付いた、という次第です。

久しぶりに住んでみて、大山の北壁や眺望の美しさに今さらですが感動しています。日本海と大山に見守られていることを感じつつ、これまでの暮らしと180度違う環境で、毎日が新鮮に映っています。そういう意味では、一度大山町を離れてみたことは私にとってよかったのかもしれない。

とはいえ、どんな場所でも、暮らしていくには健康で元気に稼いでいくことが必須です。でも、田舎ではお金も人もよそへ流れてしまうことが多いのが現実で、すぐもったいない。大山町は、施設や環境は充実しているのに、活用しきれないように感じました。

外部へのアピールも大切にしながら、まずは暮らしている私たちが健康で楽しく「儲け」が出るしくみを、皆さんと一緒に作っていきたいです。

私は、おばあちゃん子だったので、会話には中部寄りの方言が混じります。これからあちこちに顔を出していきますので、いろんな話を聞かせてください。

どうぞよろしく願います。